



2022年2月

第59号

備前市議会だより

おもな内容

- P 2 ~ 11月定例会の概要
- P 4 ~ 一般質問
~15議員が質問に立つ~
- P12 議案等審議結果
- P13~ 各委員会審査
- P16 寒中お見舞い、編集後記
次期定例会の予定の紹介

写真は、備前焼のさと伊部の「天津神社」のようす

11月定例会の概要

各補正予算案から7事業を削除
約3億2千万円減額

第6回定例会は11月30日に開会され、12月24日までの25日間にわたる会期で行われました。

この定例会に付議された案件は、20議案、報告2件、発議1件、請願2件で、議題の案件のうち最終日までに審議を終えたものを議決し、閉会しました。

一般質問は、12月8日から10日の3日間に15人の議員が質問戦を繰り広げました。

質疑は、13日に6案件に対して、3人が議案に対して質問を行いました。

最終日の12月24日には各委員会での審議における委員長報告がなされ、留保された少数意見の報告の後に、討論及び採決が行われました。

この定例会では、異例とも言える一般会計補正予算が4議案上程されるなど、6議案について13人による21件の賛否討論があり、附帯決議や少数意見の留保を含め、活発な論戦が展開されました。

■ 一般会計補正予算（第8号）

《原案賛成》

新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行った市立備前病院及び応援体制を取った市立2病院の職員に支給するものであり、国の補助金を充当できることから、賛成であります。

《修正案賛成（原案反対）》

新型コロナウイルスへの対応は、市立病院も大いに奮闘されましたが、医師会の皆さんのご努力も忘れてはならない。感染症への対応は、地域のすべての医療に携わる人の総力戦であります。不公平が無い施策をお考えいただきたい。

■ 一般会計補正予算（第9号）

《原案賛成》

屋根付き多目的広場は、雨の日、寒い日、暑い日でも利用ができ、高齢者の健康増進に役立つので必要であります。

《原案反対》

屋根付き多目的広場整備は、3度目の提案であるが9月の提案と何ら変更がないこと、備前焼作家名鑑作成等事業は、山陽新聞社が作家名鑑を発刊し、随時更新しており、質の低下が危惧されます。

■ 一般会計補正予算（第10号）

《原案賛成》

この制度は、新型コロナウイルスの影響を受けた子育て世帯を対象として、所得に関係なく、公平公正に支給されるということが妥当であると考えます。

《修正案賛成（原案反対）》

本市の財政状況が大変厳しい中、所得制限を撤廃してまで5万円を支給するの、かという疑問が残ります。

修正（減額）等された事業の一覧

事業名	修正(削除)額
新 市立3病院職員へ慰労金給付	528万円
新 備前焼フェア事業	550万円
新 備前焼作家の名鑑作成等事業等	969万円
新 日生市民会館ホール空調等改修	6,228万円
新 18歳以下に新型コロナによる市独自に10万円給付（所得制限無）	750万円
再 屋根付き多目的広場（吉永）	9,800万円
再 市民センター西側遊技場跡地の用地取得費（約4,500㎡）	1億3,504万円
合計	3億2,329万円

再度、議案上程がなされた案件

(過去2回にわたり否決された案件)

議案第107号 土地取得事業特別会計補正予算(第3号)

市民センター西側の遊技場跡地の用地取得(1億3千504万円)

当該土地取得は、長年の懸案で市民センターの駐車場不足解消、サイクリングターミナル等の事業にも必要とする賛成討論と、今の市の状況を考察したときにとっても計画的な公有地取得とは認められないとする反対討論がなされました。

議案第112号 副市長の定数を定める条例の一部改正

副市長を1人制から2人以内に増やす

条例改正案

提案当初の目的である業務多様化への対応のため、また企業版ふるさと納税30億円を集めることに必要な人材との賛成討論と、本市の状況では副市長を増やしてまでやることではないという反対討論がなされました。

(編集委員 立川 茂)

各議員の賛否一覧

案件	上段：会 下段：議	名派員名		公 明 党	備 前 市 議 団		日 本 共 産 党	尾 川	川 崎	山 本	市 政 会		健 志 会	新 志 会		無 所 属		賛 成	反 対	
		掛 谷	森 本		中 西	田 口					土 器	西 上		青 山	橋 本	石 原	星 野			藪 内
一般会計補正予算 (第8号)	①委員会修正案	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	8	7
	②修正を除く原案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
一般会計補正予算(第9号)		○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	7	8	
一般会計補正予算 (第10号)	①委員会修正案	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	8	7
	②修正を除く原案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
土地取得事業特別 会計補正予算 (第3号)	①委員会修正案	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	8	7
	②修正を除く原案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
病院事業会計補正 予算(第1号)	①委員会修正案	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	8	7
	②修正を除く原案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
副市長の定数を定める条例の一部改正		○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	6	9	
地方公務員法第29条第1項第2号に抵触する職務怠慢の備前市職員に懲戒処分を求める請願		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	2	13	
備前市西片上地内遊技場跡地取得を目指す署名5,868名分の真正を調査・研究するための地方自治法第100条の規定による委員会の設置を求める請願		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	1	14	

【表の見方】

- 「○」は賛成、「×」は反対、「-」は表決に加わっていないことを表します。記名投票による表決は投票賛否を、起立表決による表決は、「着席者を否(反対)とみなす」備前市議会の先例に基づいて記載しています。
- は討論を行った議員を示します。

一般質問の要旨

登壇した15議員の一般質問通告事項は次のとおりです。

質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
1 藪内 靖	1 通学路等の整備と交通標示について 2 公共交通と移動販売車について 3 2回否決等した議案等について 4 カーボンニュートラルと水素タウン構想について	9 中西 裕康	1 生命を守り、生活応援のコロナ対策を 2 不在者投票を行える施設の増加をめざして 3 合併特例債の現状はどうか 4 久々井総合運動公園の再整備について 5 買ってもしない、飲んでもしない苦田ダムへの支出約1,000万円 6 片上地区のだんじり展示場はどうなっているのか
2 星野 和也	1 人口増加に向けて 2 教育行政について 3 都市公園整備について 4 子育て支援について 5 都市計画道路について	10 川崎 輝通	1 東京・名古屋事務所の役割について 2 旧アルファビゼン計画について 3 市有街灯のLED化について 4 経常収支比率について
3 掛谷 繁	1 旧アルファビゼンの活用と片上地区市街地の活性化について 2 「道の駅」「防災公園」「備前焼ミュージアム」について 3 道路の新設と交差点改良について 4 ICT・SNS・ドローンの活用について 5 小中学校児童・生徒のオンライン授業について 6 社会福祉協議会補助金に関する要望について	11 田口 豊作	1 残土処分場について 2 中小企業振興条例の制定について 3 消費税のインボイス制度導入の延期、中止について 4 海岸法について 5 石谷川のしゅんせつ工事について
4 山本 成	1 起業支援施策について 2 公共施設のトイレの洋式化 3 カーボンニュートラルの学校教育 4 自治会活動の活性化策について 5 投票率の向上策について	12 青山 孝樹	1 道の駅と自然公園の設置について 2 コミュニティーの維持・再生について 3 岡山大学大学院教育学研究科等との連携協定について 4 「シンフォニック・オアシス」「八塔寺青少年文化・スポーツプラザ」(仮称)構想について
5 森本 洋子	1 交通弱者の支援について 2 子宮頸がん予防接種について 3 乳幼児健診について 4 通学路の安全確保について	13 西上 徳一	1 備前市指定文化財について 2 教育について 3 佐山バイパス(県道備前牛窓線)について 4 遊技場跡地取得について 5 観光について
6 立川 茂	1 社会福祉施策(備前市社会福祉協議会)について 2 備前市の財政について 3 災害避難(避難行動要支援者登録制度)について 4 教育行政について	14 橋本 逸夫	1 市長選挙の際の公約について 2 ふるさと納税について 3 備前市の財政状況について 4 旧アルファビゼン減築提案について 5 消防団日生方面隊の出初式について
7 石原 和人	1 児童遊園地について 2 一時保育について 3 防犯カメラについて 4 公共交通について 5 議案、補正予算案の提案に至る検討経緯について	15 土器 豊	1 議案の提案説明について 2 副市長の2人制について 3 給食費、教材費の無償化について 4 まちづくりについて 5 令和4年度は、市道・生活道の修繕費を2倍から3倍に増額を 6 自治公民館の補助金を2/5から3/5に変更を
8 尾川 直行	1 バブリックコメントと行政組織の在り方 2 新図書館建設と「まちじゅうどこでも図書館」の推進 3 教育大綱と小中学校の不登校対策について 4 幼児・児童・生徒の繰り返される遊具の事故防止について 5 JR西片上駅・吉永駅・日生駅改修とサイクリングセンター整備について		

公共交通と移動販売車について

無所属 藪内 靖

一般質問の映像をご覧になれます



問 人口が減少する中で、車両の小型化も含め、お医者バスや買い物バスのようなニーズに合ったよきめ細かいサービスに切り替えていかれては。また、3月末で終了する離島部における移動販売車の実証実験を4月以降も継続していただけないものでしょうか。

市長 民間会社から引き継いだ大型のバスも老朽化のため更新時に小型化も含め、利用者数と車両の大きさが適正となるよう見直します。また、路線バスはこれまで地域拠点を接続する幹線道路での運行を充実してまいりましたが、今後、それぞれの地域のニーズに対応した公共交通体系を構築してまいります。移動販売車に関して好評ではあります。事業費等を考えると相当な赤字であり、採算ベースには程遠く、満足度・売上げ等を見て検討したい。

問 2回否決等した議案等を3回も提案される理由とは何か。

市長 副市長2人制等は現状からさらに上の高みを目指すための体制整備であり、現副市長は市長の補佐ではなく、市長の代理として外部折衝し、案件をまとめる立場



であります。よって、実務を司るもう1名が必要となります。

問 通学路等の整備について、危険箇所は備前市全域に渡ると思いますが、特に国道250号線沿いの梶谷地区は片側が海であり、歩道上には草木が生い茂り、アスファルト舗装も傷んでおり、街灯も防犯灯もなく非常に危険かと思われ、県の管轄ではありませんが、市でも何か対策をできませんか。

教育長 備前市通学路安全推進会議において、今年度は合同点検を実施し、対策方法・スケジュール等を定め、取り組んでいくことになっております。国道は県の管轄の道路となりますので、県に対しての要望事項となりますが、市長部局と連携を図りながら、すべては子供たちのために、早期の課題解決の実現に尽力していきたい。

課題解決にどう取り組むのか

新志会 星野 和也

一般質問の映像をご覧になれます



人口減少対策について

問 数ある課題の中でもコロナ対応を除き、人口減少対策は最優先課題として取り組むと認識している。今後、どのように臨むのか。

市長 「子育て支援の充実」、「教育のまち備前の発展」、「持続可能な雇用の創出・安定」、「住宅施策の推進」の4本柱を軸に「豊かな、自然と文化」、魅力あふれる「まち」、活力ある「ひと」それが備前の実現を図るため、人口減少の傾きが少しでも緩やかになるよう各種施策に取り組んでまいります。今までと全く同じことをやっているだけでは進展もありませんので、新たな総合計画における基本構想及び基本計画に基づき、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

保育・子ども園のネットワーク化

問 園運営の効率化を図るため保育業務支援システムを導入したが、進捗状況はどうなっているのか。

教育長 12月中旬に各園のネットワーク工事、職員向け研修等、1月にはシステム設定、機器設置等を順次実施し、2月からテスト運用を開始、4月以降に本格運用を開始する予定。こうしたシステムの市内公立園への一斉導入は県内で



も早い段階での整備であり、保育士・保育教諭の業務効率化による負担軽減を図っていきたい。

遊具の安全管理について

問 岡山市の認可保育園で起きた遊具での事故を受け、本市ではどのような対応をとったのか。

教育長 専門業者による安全点検を毎年実施し、修繕等の必要性が指摘された遊具につきましては、改善を適宜実施している。今回の事故を受け、体など挟み込みの危険性がある遊具について、緊急的に修繕を実施しています。また、安全基準を学ぶ研修につきましては、園全般に係る安全管理についての研修を定期的に実施しており、「安全管理マニュアル」などに基づき、職員による遊具等の日常点検、園児の活動指導や見守りなどに一層注意を払いながら、安全確保に努めているところです。

道路の新設、交差点改良について

公明党備前市議団

掛谷

繁

一般質問の
映像をご覧
になれます

未来に希望の持てるまちづくりを

経民会 山本 成

一般質問の
映像をご覧
になれます

問 都市計画道路浦伊部線の5か年計画を前倒し早期完成を。

市長 本年度に発注する道路詳細設計が完了し、道路として必要となる用地が確定し、用地交渉を速やかに進め、少しでも早く工事に着手し、早期完成できるように進めていきたい。

問 瀬戸内市と連携して県道磯上備前線の実現を。

市長 市が整備する浦伊部線と含めて新たなまちづくりを進めるためにも重要な路線であることから瀬戸内市と協議を行い、道路整備について実現できるように県に要望していきたいと考えている。

問 伊部東交差点改良の見通しについて。

市長 朝夕の交通渋滞対策、交差点の安全確保のためにも重要なことと認識し、改良は必要と考えている。地域の方々のご理解とご協力が得られるよう改良計画の見直しを含め国に要望していきたい。

問 N T N 畠田交差点改良の状況について。

市長 以前にも要望があり、地権者の方に交渉した経緯があるが、

事業実施には至っていない。実現には地権者のご協力が必須であり、今後の事業の進め方を含めて、地元関係者と協議し検討してまいります。

問 市民センター西交差点改良計画について。

市長 現在、交差点を整備する概略設計を行っている。今後、県警交通規制課及び備前警察署と協議を行う予定。事業化に向けて道路管理者の岡山県と協議を行っている。事業実施には西側の既存駐車場が道路用地となり、代替え駐車場を確保する必要がある。岡山県に要望していく以上、地元関係者の用地提供等を含め全面的な協力体制が必須であると考えている。



N T N 畠田交差点



県道磯上備前線

起業家支援策について

問 起業家を積極的に支援する自治体が増えていきます。新規起業者が持つ「新たな視点」は、備前市が長年抱えてきた課題の解決にもつながる可能性があります。現在、備前市では、どのような起業家支援を行っているのでしょうか。

市長 現在、市内で創業する、あるいは創業が問もない方に対して、備前市・瀬戸内市・和気町で創業塾を共同開催しております。今後、市内で創業していただくという意欲向上や動機付けのため、また、事業を長期継続していただくためにも、創業者に対する経営指導やサポート等、総合的な支援について引き続き取り組んでまいりたいと考えています。

公共施設のトイレの洋式化

問 トイレを洋式化することは、インバウンド事業を含めた観光誘致の面でも重要な施策であり、また新型コロナウイルス感染症対策として蓋のある洋式は、和式と比べ飛沫拡散防止に効果があるとされていますので、早期に洋式化されてないトイレは改修すべきです。市内の公共施設のトイレは何基あ

り、すでに洋式化されているのは何基で、洋式化率は何%か。

市長 公共施設のトイレは、1642基あり、洋式トイレは、1183基、洋式化率は72%です。

カーボンニュートラルの学校教育について

問 環境教育を小学生などの頃から行うことで、長期的な環境改善に繋がるのでは。

教育長 子どもたちが幼少期から環境問題について考えることは非常に重要であります。カーボンニュートラル2050を展望した教育ビジョンづくりと教育変革計画が進められるべきです。



伊部認定こども園



お医者バスについて

公明党備前市議団

森本 洋子

一般質問の映像をご覧になれます



問 お医者バスは、11月1日から実証運行として、伊部・片上地区内において高齢者等の通院における利便性向上を目的とし、備前病院からJR備前片上駅間のバスの需要を検証している。利用者にとっては、利便性の向上する事業ではあるが、タクシー業界等の理解が必要と考えるが、利用者の評価が好評であれば、導入をするのか

市長 1カ月間の利用実績は、運行日数20日間で218人が利用。これまでバス停の無かった草加病院前、松本歯科前、木村内科前等でもご利用、好評をいただいている。12月に利用者へアンケート調査を行い、路線化に向け取り組んでいく。

問 この度の実証運行は備前病院を起点としているが、日生・吉永病院についても実証運行するのか

市長 日生・吉永病院、その他の民間医院も含め、現路線ルートにおいて、移動手段やニーズに対応した効率的な移動手段の確保につながる運行を検討していく。

問 現路線では、乗り換えをしないと病院に行けない高齢者には、料金が負担に。特に透析治療をされている方は、病院までの直通を



希望されている。来年度に向けての取り組みは。

市長 移動実態やニーズに合わせた公共交通の構築に向けて路線の充実を行い、効率化という面についても検討していく。

「通学路の安全確保」について

問 市道山田原蕃山線、セリオ横の通学路の拡幅事業について、整備内容が二転三転した。道路を拡幅し、生徒の安全確保のため、どのような整備になるのか。

建設部長 本年度、拡幅区間に隣接する地権者と、用地・補償契約を締結し、建物の撤去作業を行っている。車道部分は上下各1車線で幅員6.75m、セリオ側に自転車歩道として3.5mを整備します。



「社会福祉施策」と「災害避難」と「教育行政」について

無所属 立川

茂

一般質問の映像をご覧になれます



「社会福祉施策（備前市社会福祉協議会）」について

問 備前市社会福祉協議会は、介護保険法や障害者総合支援法によるサービスも多様化・細分化する中、大変難しい運営を迫られ、人材確保にも苦慮している状況にあります。毎年のように運営補助金の補助率改善要望が寄せられていますが、今後の対応はどうか。

市長 補助率見直しの経緯については、ここ数年社会福祉協議会と協議を重ねていく中で、見直しが必要であると判断したものです。

問 今後、社会福祉協議会と連携していく上での課題は。

市長 福祉的な専門職が中心となるため、人材確保と人材育成ができる体制を市も一緒に考えていく必要性があります。

「災害避難（避難行動要支援者登録制度）」について

問 避難行動要支援者登録者の現在の届出者数は。

市長 令和3年11月末現在において、822名となっております。

問 避難行動要支援者登録者名簿の活用と情報更新状況はどうか。

市長 備前警察署・東備消防組合・民生委員児童委員・備前市社会福祉協議会・地元区会等に配布し情報共有している。情報更新は年2回を目途に行っております。

「教育行政」について

問 「つながり」に重点を置き、例えば、閑谷学校の瓦、天津神社の瓦などを「備前焼の瓦」カテゴリーでグループ化とストーリーで情報発信をするのはどうか。

教育長 現在、文化庁へ認定申請中の「備前市文化財保存活用地域計画」の中でストーリー性を持った「関連文化財群」として情報発信をする計画としています。



社会福祉協議会の車両



子ども、高齢者の安全・安心について

新志会 石原 和人

一般質問の映像をご覧になれます

「新図書館建設」と「まちじゅうどこでも図書館」の具現化を

経民会 尾川 直行

一般質問の映像をご覧になれます

児童遊園地について

問 市内に36カ所の小規模の遊園地があるとのことだが、例えば身近な香登、大内、福田等の遊園地の遊具が使用禁止となっている。市内の現状と今後の対応は。

市長 秋に点検を実施し、28カ所で使用不可となった遊具があり、ロープを張るなどの対応としている。今後は地区の要望を聞きながら早急に撤去と改修を実施する。

一時保育について

問 伊部、日生、吉永の3園で、保護者の都合で保育ができない子どもを月15日前後の規定の範囲内で預かる一時保育事業で、その利用理由に「保護者の就労」も含まれている。令和2年度資料では、2歳児以下を中心に延べ2168名の利用があり、そのうち約8割が保護者の就労のためとのこと。1日2千円の利用率となっており、0歳児から一律保育料無償化の本市においては、入園児童との不公平感が大きいと感じる。利用率軽減の検討を求めているかがか。

市長 近隣自治体の利用率と同等ではあるが、より利用しやすい制

度となるよう検討していく。

防犯カメラについて

問 先日、地元の防犯団体「香登安全・安心ステーション」あてに県担当課から防犯カメラ設置補助事業の案内が届いた。令和4年度まで、自治体が設置する場合にも1台あたり10万円助成されるとのこと。備前市では現在計125台が設置されているようだが、この制度を活用しプライバシーにも配慮した上で、さらなる設置促進を望む。事業の目的は通学路等における犯罪の防止とあるが、設置すること、時に発生する高齢者等の行方不明の際に、いち早く発見することにもつながる有効な事業であると考えるがいかがか。

市長 提案のとおり、県の補助事業を活用し設置促進を考えていく。



使用禁止の遊具

問 市長は、備前市の将来は図書館から、副市長、教育長の布陣を見てくださいと述べられ、今度こそ具現化できると思いましたが、いつまでにどこに建設か、三役の役割分担は。

市長 将来のまちづくり・ひとづくりの拠点として、教育委員会を中心に「新しい図書館を創ろう会」の立ち上げを準備している。具体的な計画は、構想と並行して建設予定地を検討している。三役の役割は、まず図書館を管轄する教育長を先頭に、副市長が構想の作成を後方支援し、私が備前市の未来づくりの視点で図書館づくり計画全体をまとめていく。

問 「新しい図書館を創ろう会」の活動とは。

教育長 コンセプトは、新しい図書館像である「コミュニティづくりとしての図書館」「新しい価値・文化を創出する図書館」、「人づくりを担う図書館」、「観光の中核を担う図書館」「持続可能でみんなを支えあう社会の中核を担う図書館」を目指す。年明けから準備会を立ち上げ、広くまちづくり会議や新しい図書館づくりの会や産学官民の代表者で構成する。新しい中央図書館を中心に「ご近所図書

館」「おうち文庫」「縁側本棚」をまとめていく。同時に、図書館ボランティアの養成を進める。あわせてイベント、記念講演会を開催し、「図書館のまち備前市」を広くアピールしていく。

問 「学校図書館」の活動は。

教育長 「まちじゅうどこでも図書館」構想の中の重要な構成要素として「学校図書館」を入れている。幼児教育段階で図書館の充実、小・中・高等学校の学校図書館の充実、学校図書館が学校内で閉じられたものではなく、広く市民に開かれたものにする。

問 「片鉄ロマン街道」活用とサイクリングセンター整備を。

市長 遊技場跡地にサイクリングターミナル整備、備前焼と旧閑谷学校の新ルートの提案、県や沿線市町と連携し利用促進する。片鉄ロマン街道延伸は県と協議する。



片鉄ロマン街道パンフレット



不在者投票所の積極的な活用を

日本共産党備前市議団 中西 裕康

一般質問の映像をご覧になれます



投票権を守って

問 日本共産党に施設入所者の家族の方から投書があり、施設で不在者投票ができないが、投票する権利を保障できないかとの内容。

市民生活部長 県選管が指定している不在者投票施設は市内に病院4施設、介護老人保健施設2施設、老人ホーム7施設。実施していない施設は2施設あります。投票率向上のため、未実施の施設に不在者投票所について積極的な啓発を行っています。

久々井総合運動公園を再整備

問 各種大会が重なり駐車場不足が生じる時がある。駐車場の整備、バリアフリー化は考えられないか。

市長 各種大会が重なり、駐車場が不足するのは年に数回。各駐車可能用地を利用していく。

片上地区だんじり展示場は

問 片上地区のだんじりは、文化的価値の高いものと聞いている。その後どうなっているか。

市長 地元選出の中西議員の反対で否決された展示場については考えておりません。

意見 文化的な価値が理解できないとは。

飲んでいない水に毎年約1千万円

問 市長は岡山県と一緒に岡山県広域水道企業団を脱退しようとしたが、反対が多く脱退できなかったと前回議会で述べられました。それは岡山県が10万トンの水に年6億円を払っているのを削減するのが目的。苦田ダムを造った経緯、土地や財産を失った住民感情からしても認められないものでした。

しかし、備前市はお付き合いでこれまで約1億4千万円も支出している。つまり、備前市だけで脱退するとすれば了解が得られるのでは。

市長 私は中西議員のような安易な脱退は考えておりません。

問 私は実現可能なご提案をしているが。

市長 中西議員とは政治的な立場が異なる。



久々井運動公園のようす



豊かな備前市を実現するには、拠点づくりと執行体制が必要です

経民会 川崎 輝通

一般質問の映像をご覧になれます



東京・名古屋事務所の具体的な活動と2か所に出す目的は何か

市長 備前市の利益を追求した業務を東京事務所が担い、県東京事務所と連携して効果を高め、政治経済の中心は東京であり、モノ作りの中心は名古屋にあることから、それぞれに活動拠点を置くべきとの考えです。事務所は、第一に「情報の収集・発信拠点」です。ふるさと納税や企業誘致などのチャンス拡大に繋がります。東京事務所は、人的ネットワークを形成して、遠隔地連携を推進する役割を担い、名古屋事務所を設置する愛知県は、製造出荷額では全国トップです。特に自動車産業は、自動運転や電気自動車など新技術への転換期を迎えており、次世代分野への更なる投資が見込まれます。また、リニア中央新幹線の開業も予定されており、更なる発展を遂げると思っています。

旧アルファビゼンの全部または部分解体費用と改修目的は何か

市長 全部解体の設計費と工事費の概算は9億3850万円です。減築による部分解体の概算は、6

億1600万円です。約3億2000万円を削減できます。「市民の学習活動や地域文化創造の交流拠点」となる施設を目指し、中央公民館や総合福祉センターなど計画しています。

市有の街灯のLED化の割合と町内会管理の街灯の設置数は

市長 市の街路灯のLED化は35.5%です。町内会のLED防犯灯は、2462灯です。

過去5年間の経常収支比率の推移と県下最悪の数値改善策は

総務部長 平成28年度の94.7%から令和2年度の97.6%へ悪化している。改善方法は、固定費用の削減と各事業の整理統合、規模の適正化を図るなど改善努力します。



旧アルファビゼン



残土処分場について

日本共産党備前市議団 田口 豊作

一般質問の映像をご覧になれます



問 搬入路の整備状況は。
建設部長 搬入路については、完成後に、一般車両がゴミ等を持ち込む際に離合できるための拡幅工事をを行っています。

問 熱海市で土砂流出災害があったが、設計は現状で大丈夫か。変更は考えていないか。処分場の設計は現状で問題ないのか。
市長 この件について、林地の開発面積が大規模であることから、岡山県と設計内容について森林法に基づき、林地開発許可を要しない開発行為の調整について協議を行っている、安定勾配での盛土を計画しているため、計画変更は考えていません。

問 不法投棄の対策は、また建設残土についても受け入れるのか。処分費用は考えているのか。
市長 不法投棄対策として現在も搬入口に受付を配置し、搬入時間外は施錠しています。また民間の建設残土は、受け入れをしません。県工事の残土処分を受け入れる場合に処分費として単価決定を検討し、供用開始までに決定したい。

問 6月議会で中小企業振興条例の制定についてお願いしたが。
市長 市内の小規模事業者をはじめとする中小企業は、地域経済及び雇用を支える担い手であるとして理解しています。他市の状況を参考にしながら、商工会議所や商工会、金融機関など関係機関から意見をお聞きしたいと考えております。今後、各関係機関と連携を図り、取組みを進めてまいります。

問 海岸保全区域について住民から県へ文書が提出されているが。
建設部長 県担当課に問い合わせがあったことは承知しておりますが、県には守秘義務があり、詳しくは把握しておりません。

問 6月議会で中小企業振興条例の制定についてお願いしたが。
市長 市内の小規模事業者をはじめとする中小企業は、地域経済及び雇用を支える担い手であるとして理解しています。他市の状況を参考にしながら、商工会議所や商工会、金融機関など関係機関から意見をお聞きしたいと考えております。今後、各関係機関と連携を図り、取組みを進めてまいります。



残土処分場（舟坂地区）



「道の駅や自然公園の設置」により、交流人口を取り込み、若者の移住定住につながる新たな魅力づくりを

健志会 青山 孝樹

一般質問の映像をご覧になれます



問 備前市は岡山県の東の玄関口、人や物が集まり交流する場としての道の駅、親子連れや若者も楽しめる遊具やスポーツ施設を擁し多目的な自然公園の設置のお考えは。
市長 道の駅は地域内外から流入する観光客を受け入れることで、地域経済への波及も大きく地域活性化へもつながる可能性を持つ施設であり、本市でも必要な施設であると考えている。場所の選定については、適地が見つかり次第、県と協議を進めてまいりたい。

問 少子高齢化・後継者不足による地域存続の危機といわれるが、コミュニティの維持・再生についてのお考えは。
市長 自治会における役員の負担を減らし、もっと若者や女性が参加しやすい自治会の運営方法や規模など、あり方の研究をしていく必要があると考える。まちづくり会議の活用を推奨していく。

問 岡山大学大学院教育学研究科との連携協定におけるマイクロステップスタディを使った教育の、使用方法・効果、使用上のルールやトラブルへの対応について。
教育長 タブレットを使い家庭学習を行う。英単語や漢字を効率的・効果的に習得でき、学習者の主体的な思考を充実させられるドリルアプリである。使用自体によるトラブルは考えられないが、大学との連携により学校・家庭へ使用上のルールを周知していく。

問 「シンフォニック・オアシス八塔寺青少年文化・スポーツプラザ」構想の目的と内容、今後の進め方について。
教育長 八塔寺周辺の自然を活かし、青少年を中心に市民や観光客の文化・スポーツ振興、健康増進及び生涯「楽」習を行い、アウトドアスポーツのメッカとする。来年5月末に「アウトドア・スポーツフェスティバル」（仮称）の開催を目指し、官民協働で行うため地元振興会、スポーツ関係者やNPO法人、施設管理者などと実行委員会を立ち上げたい。



八塔寺ふるさと村



教育（小規模特認校、イエナプラン教育）について

市 政 会 西 上 徳 一

一般質問の映像をご覧になれます



問 特定の学校を特認校として指定し、少人数での教育の良さを生かし、きめ細やかな指導や特色ある教育を行う小規模特認校を、市内小学校でも指定できないか。

教育長 学校規模の違いが大きくない本市での制度の導入は、なじまないと考えております。

イエナプラン教育について

問 子ども自身が学習計画を立て、異年齢の集団で協働して学ぶ事が特徴のイエナプラン。本市でも考えるべきではないか。

教育長 イエナプランのエッセンスを実施されている教育に生かすことで、より効果的な学びを提供できるよう研究してまいりたい。

市指定文化財の追加について

問 鶴海八幡宮の絵馬を市指定文化財として保護、保存することはできないか。

市長 どのような形で保護するのが良いのか検討してまいりたいと考えております。

佐山バイパスについて

問 早期工事着手を願っております。県との連携、今後のスケジュールは。

市長 計画の県道に繋げる市道についても整備を行う計画です。県の地元説明会に市も同席し、地元住民と協議できる場を設けたい。

観光について

問 官から民への連携協働と観光協会との連携における役割分担は。

市長 市観光ボランティアガイド協会と連携・協力し実施している。観光協会は民間企業と行政との中間的な存在で観光行政を補完する役割です。

問 市内フリーWi-Fiの整備状況は。

市長 市内32の事業者からの申請を受け整備されております。公共施設は14施設であるが十分ではなく他の公共施設や屋外施設などへのWi-Fiの設置についても算化してまいります。



鶴海八幡宮の絵馬



市長選挙の際、福田地区の市民に公共下水道で整備すると約束した件（8月議会の一般質問の続き）

健 志 会 橋 本 逸 夫

一般質問の映像をご覧になれます



問 前回の一般質問終了後、手渡された答弁書の記載内容と市長の実際の答弁と全く違うことが判明した。答弁書『選挙期間中に福田地区の方から下水道を整備して欲しいとの要望があり、下水道を整備しましょうと申しました。』実際の答弁『福田地区の方からトイレの水洗化の相談があり、担当課から合併浄化槽での整備区域であるとの説明を受け、そのようにお知らせするように指示をしたまでです。』とのこと、担当者が作成した答弁書に嘘があるとは思えない。

市長 実は福田地区の住民に公共下水道を整備すると約束されたのではないか。

市長 答弁書は、まず担当課で答弁書の案を作成し、その後、庁議メンバー全員による勉強会において内容について協議が行われ、最終的な答弁書の作成となります。差異につきましては、誤って答弁書（案）の段階のものが議会事務局に送られたものです。また、答弁書の認識が誤っていたものと推察いたします。

問 ふるさと納税（個人・企業版）の直近の金額はいくらか。

市長 今年の11月末時点で、個人版ふるさと納税が1億4千626万5千円で企業版ふるさと納税が1千110万円です。

旧アルファビゼンの減築案

問 市長は建物を減築し、公民館や総合福祉センターや医療・福祉系の専門学校を設置したいようだが、専門学校は生徒が集まらない恐れがあり、採算が合わない。市の財政状況を考え、反対である。

市長 魅力ある学校を創ることができればニーズはあると考えています。市営・民営にかかわらず、人口が減少している今だからこそ、持続可能なまちづくりを進めるうえで、必要な施策であると確信しております。



旧アルファビゼン



まちづくりについて

市政会 土器 豊

一般質問の
映像をご覧
になれます



問 複雑多様化する中で、地域のくくり、まちづくりについて、職員のアドバイスを受けながら、自治会（ケースバイケースにより、区会、町内会等）や議会が一丸となった取組みができるシステムを構築できないか。

市長 市と自治会や区会、町内会等と議員が一体となった取組みについては、自治会からのご相談など、要請があった内容に応じて担当部局へ繋ぎ、できるだけ対応してまいりますので、自治会連絡協議会の担当課へご相談いただきたいと思います。

問 令和4年度は、市道・生活道路の修繕費を2〜3倍に増額を。

市長 毎年、地元からいただいた要望書などを基に予算計上しております。修繕箇所が増加した場合には、補正予算を計上して対処しています。そのことを踏まえ、議員ご指摘のとおり、来年度当初から、修繕費について前年度当初予算額以上を確保し、道路の安全に努めていきたいと考えています。

問 給食費、教材費の無償化について。



未舗装の道路（里道）

市長 現在の補助制度につきましては、制度設立に当たって、平成29年9月の定例会でもご議論いただきましたとおり、多子世帯の子育て支援を推進するための制度設計となっております。無償化を実施した場合の事業費といたしましては、本年6月議会において、総額1億5千万円の試算であることをご回答申し上げているところであります。これまでも、コロナ禍における経済的困窮に対しては、就学援助制度等により、対応しているところではあります。子育て世帯への支援策として無償化をすることについても、将来的に検討してまいります。

議案等審議結果（11月定例会）

案 件 名	議決状況	議決形態
令和3年度補正予算		
一般会計補正予算（第7号）／	原案可決	全会一致
一般会計補正予算（第8号）／	修正可決	賛成多数
一般会計補正予算（第9号）／	否決	賛成少数
一般会計補正予算（第10号）／	修正可決	賛成多数
国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）／	原案可決	全会一致
土地取得事業特別会計補正予算（第3号）／	修正可決	賛成多数
三国地区財産区管理事業特別会計補正予算（第1号）／	原案可決	全会一致
水道事業会計補正予算（第3号）／下水道事業会計補正予算（第2号）	〃	〃
病院事業会計補正予算（第1号）	修正可決	賛成多数
条例制定・改正・廃止		
副市長の定数を定める条例の一部改正／	否決	賛成少数
過疎地域の公示に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部改正／	原案可決	全会一致
使用料及び手数料条例の一部改正／国民健康保険税条例の一部改正／	〃	〃
ケアラー支援の推進に関する条例の制定／	〃	〃
その他の議案・報告・請願ほか		
過疎地域持続的発展計画の策定／	原案可決	全会一致
岡山県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び組合規約の変更／	〃	〃
特別養護老人ホーム大ヶ池荘、養護老人ホーム蕃山荘及びデイサービスセンター大ヶ池荘の指定管理者の指定／教育集会所の指定管理者の指定／日生温水プールの指定管理者の指定／	〃	〃
専決処分（損害賠償の額の決定及び和解）／	〃	〃
市長選挙の不正を糾す意見書の提出を求める請願（請願第21号）	報告	一
地方公務員法第29条第1項第2号に抵触する職務怠慢の市職員に懲戒処分を求める請願（請願第23号）	継続審査	一
沖繩本島南部からの埋立て用土砂採取の中止を国に要請することを求める請願（請願第24号）	不採択	賛成少数
備前市西片上地内遊技場跡地取得を目指す署名5,868名分の真正を調査・研究するための地方自治法第100条の規定による委員会の設置を求める請願（請願第25号）	継続審査	一
市議会委員会条例の一部改正（発議第7号）	不採択	賛成少数
	原案可決	全会一致

総務産業委員会

土地の取得事業及び副市長の定数を再提案

総務産業委員会は、12月14日、16日の2日間、付託された9案件のほか、所管事項を審査しました。

審査議案のうち、4件は所管の令和3年度各特別会計補正予算、ほか5件とともに慎重に審査をしました。

補正予算は、いずれも原案可決としました。その他の議案は、4件を原案可決とし、1件は否決として、本会議に送致されました。

■副市長の定数を定める条例の一部改正

5月、8月に提出された副市長の定数を1人から2人以内にする条例改正案が、再々提案されましたが、反対多数で否決となりました。

■土地取得事業特別会計補正予算(第3号)

6月、8月定例会に続き、3回目となる片上地区の旧遊技場跡地の約4500平方メートルを市民センターや図書館の駐車場用地として先行取得するための予算が計上されました。

また、市民センター西側の国道250号線の交差点改良計画に伴う駐車場用地の減少に関する説明がなされ、改めて土地取得事業に対する理解を求めました。各委員において、事業の必要性、計画性などに関して、活発な議論がなされ、委員会においては可否同数となり、委員長裁決により賛成多数で可決されました。

■過疎地域持続的発展計画の策定

この計画は、平成12年に施行された過疎地域自立促進特別措置法が令和3年3月31日に失効し、新たに同年4月1日に「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が施行されたことに伴い、これまでの過疎地域自立促進計画を引き継ぎつつ、新しい法律の理念を反映した過疎地域持続的発展計画を定めると説明がなされました。

■請願

※平成26年4月から市内全域が過疎地域指定

「沖繩本島南部からの埋立て用土砂採取の中止を国に要請することを求める請願」は、委員から調査、検討の必要性及び期間の延長を求める意見などが出され、賛成多数で継続審査となりました。

■意見交換会の実施

総務産業委員会は、11月29日に伊部の備前焼伝統産業会館に委員を派遣し、協同組合岡山県備前焼陶友会と意見交換を行いました。備前焼陶友会からは、備前焼業界の現状、コロナ禍における観光客の減少、実施中の事業などの説明を受けました。

また、委員からは備前焼に対する支援策などの意見が交わされました。



(委員長 川崎輝通)

厚生文教委員会

県内で2番目となるケアラー支援条例の制定

厚生文教委員会は、12月15日、17日に開催し、付託された9案件のうち、7件は原案可決としました。

また、所管の特別会計を審査し、国民健康保険事業特別会計補正予算は原案可決とし、病院事業会計補正予算は修正可決としました。

■ケアラー支援の推進に関する条例の制定

本条例は、社会全体でケアラーを支援するための基本理念を定め、市の責務並びに市民等、事業者及び関係機関の役割を明らかにするなど、ケアラー支援の推進に関することを定めると説明がなされ、県内で2番目の制定となります。

■請願

「地方公務員法第29条第1項第2号に抵触する職務怠慢の備前市職員に懲戒処分を求める請願」は、反対多数で不採択と決しました。「市長選挙の不正を糾す意見書の提出を求める請願」は、継続審査としました。

■社会福祉協議会と意見交換を実施

近年、社会福祉協議会を取り巻く状況の変化により、寄附金などの収入が激減し、今までのような市からの補助金では、事業の維持が困難な状態であることから、現状説明と今後について意見交換が行われました。

(委員長 中西裕康)

議会運営委員会

議会基本条例に関する議員研修会の開催

議会運営委員会は、12月22日に開催し、付託された1案件を審査しました。

また、令和4年4月の機構改革に併せて、常任委員会の所管事項の変更に対応するため、市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定を議会運営委員会が発議することとしました。

■請願

「備前市西片上地内遊技場跡地取得を目指す署名5868名分の真正を調査・研究するための地方自治法第100条の規定による委員会の設置を求める請願」は、全会一致で不採択としました。

■議員研修会の開催

令和3年11月5日(金)10時から、議員を対象とした議員研修会を議場において、開催しました。

講師は、昨年に引き続き、日本大学法学部公共政策学科(本年度から着任、昨年度は環太平洋大学)の林紀行准教授をお招きし、研修テーマに「議会基本条例の評価」とする講演をいただきました。



(委員長 土器 豊)

予算決算審査委員会

一般会計補正予算(第8・10号)を修正可決(減額修正)、
同補正予算(第9号)を否決

11月30日、12月20、21、

24日の4日間において、予算決算審査委員会を開催し、令和3年度一般会計補正予算(第7〜10号)の4件を審査しました。

その結果、第7号については、全会一致で原案可決としました。

第8号については、3委員から修正案が提出され、このうちの1案を賛成多数で修正可決(減額修正)とし、少数意見が留保されました。第9号については、賛成少数で否決とし、少数意見が留保されました。

第10号については、修正案が提出され、賛成多数で修正可決(減額修正)とし、少数意見が留保されました。

予算減額箇所等の質疑応答

市立病院事業職員へ慰労金給付事業 (528万円減)

問 新型コロナウイルス患者の市立病院の受入れ体制とはどういふものか。

答 入院対応の取れる体制のことです。

問 対応する医師、看護師は特別な資格など有しているのか。

答 新型コロナウイルス患者の対応マニュアルを読み込み、対応しています。

問 今回、市立3病院には慰労金を給付して、私立病院に給付しないのはなぜか。

答 コロナ患者の受入れを行ったのは、市立病院だけであるので、提案をしているところではありません。

備前焼フェア関連事業 (550万円減)

問 備前焼フェアに係るのほり及びパンフレット等の作成に関し、備前焼陶友会と事前相談をしているのか。

答 備前焼陶友会には、文書でお知らせをしています。

問 一方的に通知をしているだけであり、官民の協力の上で実施するという事ではないのか。

答 直営で実施する事業としており、他団体も含めて、本事業を実施したいということであれば、協議をしていきたいと考えています。

備前焼作家名鑑の作成、備前焼購入 (969万円減)

問 この事業についても、備前焼陶友会と協議をして事業の計画をしているのか。

答 備前焼の魅力発信、販売促進ということで備前焼陶友会など特定の団体とは事前に協議をしていません。

日生市民会館ホール空調等改修(約6千228万円減)

問 公共施設の個別施設計画での今後の方針は。

答 基本的には、存続することとしています。

問 このホールの年間の利用回数と利用人数は。

答 平成30年に空調設備が故障するまでの利用回数は年間約130回、利用人数は約6千人、昨年は約70回、約700人でした。

子育て世帯への臨時特別給付事業 (750万円減)

問 この給付事業の目的は。

答 コロナ克服の経済対策として子どもたちの未来を拓く観点から子育て世帯の支援が目的であります。

問 所得制限を撤廃するのはなぜか。

答 世帯の所得による不合理を無くすという観点から、全世帯を対象としました。

(委員長 掛谷 繁)

寒中お見舞い申し上げます。

公選法の規定により、答礼の場合を除き議員が選挙区内の方に挨拶状を出すことを禁じられております。ご理解を賜りますようお願いいたします。



～お知らせ～ 星野和也議員が本年1月に急逝されました。ご冥福をお祈りするとともに、本号には同議員に関する記事をそのまま掲載しています。

2月定例会の予定

- 2月22日(火) 開会：議案上程
施政方針・提案説明
- 3月2日(水) 一般質問
～4日(金)
- 3月7日(月) 議案質疑／委員会付託
- 3月8日(火) 厚生文教委員会(8日、10日)
～18日(金) 総務産業委員会(9日、14日)
予算決算審査委員会(15日～18日)
- 3月24日(木) 委員長報告／議案採決
閉会

開会時刻は9時30分から
詳しくは議会事務局 ☎ 64-1803 まで



備前市議会のホームページでもお知らせします
<https://www.city.bizen.okayama.jp/soshiki/23/>

編集後記



新型コロナウイルスの発生から2年が経過し、日常におけるマスク生活も定着してしまいました。一刻も早い収束が望まれるところであります。

私たちの任期も2月時点で残すところ2月定例会のみ、4か月ほどとなってまいりました。

議会報告会も中止となっており、市民の皆様方の個々のご意見を私たちにお寄せ頂きたいと思っております。

現時点では、市議会の傍聴は自粛という形態をとらせていただいておりますが、コロナが収束したときには、是非とも、議場に足を運んでいただきたいと思っております。議会だより編集委員会では、できるだけ読みやすく、市民の皆様に関心を持っていただける紙面となるように心がけていきます。

この点についてもご意見をいただきたいと思っております。

何はさておき、これからは一段と寒さ厳しい季節を迎えることとなります。市民の皆様におかれましては、益々のご健勝、ご多幸をお祈りいたします。
(編集委員 土器 豊)